

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)セミナーのご案内

この度、九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)の長崎例会を開催することになりました。
多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

- ◆日 時 / 2015年6月5日(金) 13:00~17:15
- ◆会 場 / 長崎市タクシー会館大会議室 <http://www.nagasaki-taxiticket.com/about/map.html>
- ◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)
- ◆共 催 / (社)日本機械学会 計算力学部門 九州地区計算力学研究会
- ◆後 援 / 長崎県工業技術センター
- ◆参加費 / 無料 ◆定員 / 100名 ◆受付開始 12時30分

《スケジュール》

第1部 13:00~15:00 【司会: NSプラント設計(株) 大木 勉】

- 13:00~13:05 ◇開会挨拶 KDK会長 佐賀大学 教授 萩原 世也
- 13:05~13:45 ◇特別講演 : 長崎大学 大学院工学研究科 教授 坂口 大作 様

「多目的最適化設計によるCFDの活用」

- 13:45~14:10 ◇事例紹介1: 信栄工業有限公司 代表取締役 榎山 和久 様

「我が社の開発事例」

- 14:10~14:35 ◇事例紹介2: 長崎県工業技術センター 機械システム科 主任研究員 小楠 進一 様

「長崎県工業技術センターにおける技術支援事例」

- 14:35~15:00 ◇事例紹介3: オフィスメーション株式会社 電脳工房3Dejima 一瀬 貴明 様

「ファブラボ長崎β電脳工房3Dejima(スリーディーデジマ)のご案内と3D技術活用事例紹介」

(休憩 15:00~15:15)

第2部 15:15~17:15 【司会: 黒崎播磨(株) 神尾 英俊】

- 15:15~15:40 ◇事例紹介4: 株式会社電通国際情報サービス 沼尻 剛志 様

「クラウドを活用した次世代解析プラットフォーム PLEXUS CAEのご紹介」

- 15:40~16:05 ◇事例紹介5: 株式会社富士通九州システムズ 坂本 哲朗 様

「CFD連携形状最適化ソフトウェアCAESESの船舶設計における活用事例」

- 16:05~16:30 ◇事例紹介6: 株式会社JSOL 川嶋 俊一 様

「最新の溶接シミュレーション事例のご紹介」

- 16:30~16:55 ◇事例紹介7: 計測エンジニアリングシステム株式会社 トン リチュ 様

「COMSOLによる電気化学的諸現象の数値解析およびCOMSOLモデルの共有」

- 16:55~17:15 ◇パネルディスカッション

懇親会 17:30~19:30 会費 3,500円

場所: アティック Tel 095-820-2366 (出島ワープ1F美術館側)

<http://attic-coffee.com/attic>

- ◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。
- ◆お申し込みは、下記の事項をメール、またはFAXにてどうぞ。
- ◆お問い合わせは 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 大木 (NSプラント設計) まで
TEL 080-4104-6387 FAX 093-882-7655 E-mail : oki.tsutomu.8pz@eng.nssmc.com

《申し込み締切り 5/29(金)》 「KDK長崎例会」申し込み

事業所名	電話番号		
	E-mail		
氏名	懇親会	出席	欠席
ファブラボ長崎β見学(別紙参照)		申し込む	申し込まない

講演概要

◇特別講演 長崎大学 大学院工学研究科 教授 坂口 大作 様

「多目的最適化設計によるCFDの活用」

【概要】

コンピュータを用いた数値流体解析 (CFD) を利用することで、試作行程を減らした設計を行うことができるようになってきた。しかし、制約条件の中でパラメータを変更し、最適形状を追及するには、多くの計算時間と労力を必要とする。ここでは、遺伝的アルゴリズムおよび人工神経回路網を用いた多目的最適化設計手法を紹介し、CFD を用いた最適設計の効率化について述べる。

◇事例紹介 1 信栄工業有限会社 代表取締役 檜山 和久 様

「我が社の開発事例」

【概要】

我が社は、省力化機器、搬送装置 (リフト、クレーン) の設計・製造を行っている企業である。現在、新事業の創出のために、階段昇降アシスト手すりの開発やコンバージョンEVの開発、小型電動ミニカーの開発を行っている。さらに、これまでの溶接・組立技術のみでなく、機械加工技術の蓄積も行っている。これらの開発事例を報告する。

◇事例紹介 2 長崎県工業技術センター 機械システム科 主任研究員 小楠 進一 様

「長崎県工業技術センターにおける技術支援事例」

【概要】

長崎県工業技術センターが、機械設計や機械計測の技術支援のため、実施している技術セミナーや設備開放、技術相談について説明する。昨年度実施した「海上移乗用制動装置の開発」や「リバースエンジニアリングに関する技術開発」などについても報告する。

◇事例紹介 3 : オフィスメーション株式会社 電脳工房3Dejima 一瀬 貴明 様

「ファブラボ長崎β電脳工房3Dejima(スリーディーデジマ)のご案内と3D技術活用事例紹介」

【概要】

ファブラボ長崎β電脳工房3Dejimaは、県内の3D技術普及発展を目的として、今年の4月1日にオープンした。3DCAD、3Dスキャナ、3Dプリンタ等を利用できる場を提供しており、これらの機器を利用した事例について発表を行う。

◇事例紹介 4 株式会社電通国際情報サービス 沼尻 剛志 様

「クラウドを活用した次世代解析プラットフォーム PLEXUS CAEのご紹介」

【概要】

「クラウド」という言葉が日常生活の中で聞かれるようになって数年、インターネット上では、様々なアプリケーションやプラットフォーム等のサービスが提供されるようになってきた。今、クラウドを用いてどこまで出来るのか。クラウド上でのベンチマーク結果や利用イメージをデモを交えながら紹介する。

◇事例紹介 5 株式会社富士通九州システムズ 坂本 哲朗 様

「CFD連携形状最適化ソフトウェアCAESESの船舶設計における活用事例」

【概要】

独FRIENDSHIP SYSTEMS社が開発したCAESES(ケイシス)は、自由曲面をパラメトリックにモデリングするCADの機能と、それをCFDコードと連携して最適化する機能を兼ね備えたユニークかつパワフルなソフトウェアで、欧州の造船業を中心に広く普及している。今回は船舶設計におけるCAESESの活用事例を紹介する。

◇事例紹介 6 株式会社JSOL 川嶋 俊一 様

「最新の溶接シミュレーション事例のご紹介」

【概要】

溶接組立時におけるさまざまな課題について、シミュレーションが活用できる機会が増えてきた。溶接変形、残留応力、施工順と溶接ひずみの関連など、最新のツールで予測が可能になってきている。計算の仕組みや溶接シミュレーションのメリットをご説明しながら、活用例について説明する。

◇事例紹介 7 計測エンジニアリングシステム株式会社 トン リチュ 様

「COMSOLによる電気化学的諸現象の数値解析およびCOMSOLモデルの共有」

【概要】

電気化学におけるリチウムイオン電池、燃料電池、めっきおよび腐食などの諸現象のCOMSOL解析方法を解説し、いくつかの計算例題を示す。またCOMSOLの最新商品、COMSOL Serverによるモデル共有とCAE活用の応用を紹介する。